

2025年6月18日（水）から19日（木）にかけて、東廃協青年部による研修旅行が大阪にて実施され、総勢19名が参加しました。本企画は、2025年に開催される「大阪・関西万博」の視察を中心に、大阪市一般廃棄物適正処理協会青年部（以下、大阪一廃協）との意見交換および親睦を目的として行われました。



初日は東京駅に早朝集合し、新幹線で新大阪へ移動。到着後はホテルに荷物を預け、なんば花月にて「よしもと新喜劇」を鑑賞しました。昼食を取りながらの観劇は参加者に好評で、続くなんば散策では自由時間を楽しみました。午後にはホテルでのチェックイン後、大阪一廃協との意見交換会および懇親会がコンラッド大阪にて開催され、業界の課題や地域間の違いについて活発な議論が交わされました。

2日目は大阪・関西万博の会場を訪れ、各種パビリオンの見学に加え、廃棄物処理施設やエネルギー循環の仕組みなどバックヤードの視察も行いました。地産地消の実現に向けた取り組みに参加者一同が感銘を受け、業界の未来を考える貴重な機会となりました。



参加者からは、大阪一廃協の丁寧なおもてなしや、Mentimeterを活用したDX討論、吉本新喜劇の面白さなどが印象的だったとの声が寄せられました。また、初参加者も安心して参加できる雰囲気があり、青年部員同士の関係性を深めることができました。

今回の研修旅行は、学びと交流の両面で充実した内容となり、次世代への引き継ぎや執行委員の連携強化の契機となりました。今後の青年部活動にとって大きな一歩となる有意義な企画となりました。